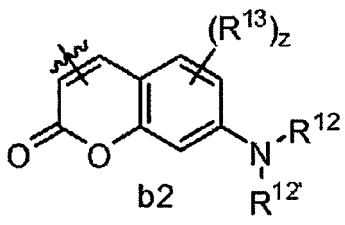
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成29年12月21日(2017.12.21)

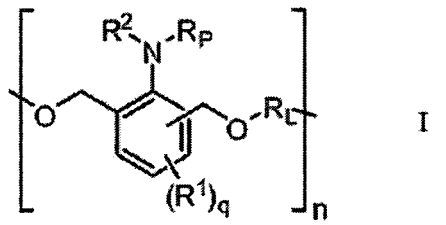
【公表番号】特表2015-519446(P2015-519446A)
【公表日】平成27年7月9日(2015.7.9)
【年通号数】公開・登録公報2015-044
【出願番号】特願2015-512911(P2015-512911)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｇ　18/32　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　63/19　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｇ　18/32　Ａ
Ｃ０８Ｇ　63/19

【誤訳訂正書】
【提出日】平成29年11月7日(2017.11.7)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１１】
式Ｉのポリマーは、Ｎ－保護ヒドロキシメチルアニリン（スペーサー）と、少なくとも２つの反応性官能基を含むリンカーの重合により合成される。これらの官能基には、限定されないが、例えば、イソシアネート、チオイソシアネート、または酸塩化物が含まれる。重合は一般的に、文献で公知の、標準的な重合条件下で行われる。結果として生じるポリマーは、重合条件ならびにスペーサーおよびリンカーの特性に応じて、ｎが２～約１００，０００である、オリゴマー、デンドリマー、架橋されたネットワーク、ストランド、フィルム、層、繊維、樹脂、接着剤、コーティング、ハイドロゲル、有機ゲル、カプセル、または粒子、例えばナノ粒子の形態で得ることができる。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１２５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１２５】
【化１】



（式中、
Ｒ^{12}およびＲ$^{12'}$はアルキル、アリール、アリールアルキル、またはアルコキシアルキルであり；および

Ｒ^{13}はニトロ、フルオロ、クロロ、ブロモ、ヨードであり；および
Ｚは１、２、３または４である）
で表されるものである、上述のポリマーである。）
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１８３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１８３】
さらに、オリゴマー、デンドリマー、架橋されたネットワーク、ストランド、フィルム、繊維、混合物、樹脂、接着剤、コーティング、ハイドロゲル、有機ゲルまたは粒子の形態である、上述のポリマーが開示される。
【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０２６２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０２６２】
実施例２４：カンプトテシン含有ポリマーからのナノ粒子の調製およびナノ粒子からのカンプトテシンのＵＶ媒介性放出のための一般的手順
ポリ（ＨＣＰＴ／１ａ）またはポリ（ＡＣＰＴ／１ａ）（３ｍｇ）およびＰＥＧ－ＰＬＧＡ（３ｍｇ）を、１ｍＬのＤＭＦに溶解し、溶液を、を含むＰＢＳ（２０ｍＬ、ｐＨ７．４）の激しく撹拌された溶液に添加した。混合物を１０００ｒｐｍで１０分間撹拌して、ポリ（ＣＰＴ／１ａ）／ＰＥＬまたはポリ（ＡＣＰＴ／１ａ）／ＰＥＬナノ粒子（ＮＰ）を形成した。ＮＰ懸濁液を、１，０００ｒｐｍで１０分間撹拌し、水晶キュベットへ移し、次いでＵＶで指定された時間処理した。溶液を１５，０００ｒｐｍで１５分間遠心分離し、溶液の上層をＨＰＬＣ解析に使用した。連続露光に関しては図９ａ、パルス状の露光に関しては図９ｂを参照のこと。
本発明に関連する発明の実施態様の一部を以下に示す。
［態様１］
式Ｉ：
【化２】



Ｉ

（式中、
Ｒ$_{P}$は窒素保護基であり；
－ＣＨ$_{2}$Ｏ－Ｒ$_{L}$－基は、Ｎに対してオルト位またはパラ位にあり；
各Ｒ^{1}は独立して、水素、－ＣＨ$_{2}$Ｏ－Ｒ$_{L}$－、アルキル、アリール、アルコキシ、アリールアルキル、またはハロゲンであるが、但し、Ｒ^{1}のうちの１つだけが－ＣＨ$_{2}$Ｏ－Ｒ$_{L}$－であることを条件とし、およびＲ^{1}が－ＣＨ$_{2}$Ｏ－Ｒ$_{L}$－の場合、それはＮに対して残りのパラ位またはオルト位にあり；
ｑは１、２、または３であり；
Ｒ$_{L}$はリンカーであり；

R^2は、水素、アルキル、アルケニル、アルキル－アルコキシ、アリール、またはアリールアルキルであり；ならびに
ｎは２～約１００，０００である）
で表されるポリマー。
［態様２］
各R^1が独立して、水素、アルキル、アリール、アルコキシ、アリールアルキル、またはハロゲンであり；および
各R_Lが独立して、アルキル、アルケニル、－Ｃ（Ｏ）－、－Ｃ（Ｏ）－アルキル－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）－シクロアルキル－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）－アリール－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）－ヘテロアリール－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）－シクロアルキル－アルキル－シクロアルキル－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）－アリール－アルキル－アリール－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）－アルキル－シクロアルキル－アルキル－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）－アルキル－アリール－アルキル－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）ＮＲ－アルキル－ＮＲ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）ＮＲ－シクロアルキル－ＮＲ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）ＮＲ－アリール－ＮＲ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）ＮＲ－ヘテロアリール－ＮＲ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）ＮＲ－シクロアルキル－アルキル－シクロアルキル－ＮＲ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）ＮＲ－アリール－アルキル－アリール－ＮＲ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）ＮＲ－アルキル－シクロアルキル－アルキル－ＮＲ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）ＮＲ－アルキル－アリール－アルキル－ＮＲ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）Ｏ－アルキル－Ｏ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）Ｏ－シクロアルキル－Ｏ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）Ｏ－アリール－Ｏ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）Ｏ－ヘテロアリール－Ｏ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）Ｏ－シクロアルキル－アルキル－シクロアルキル－Ｏ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）Ｏ－アリール－アルキル－アリール－Ｏ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）Ｏ－アルキル－シクロアルキル－アルキル－Ｏ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）Ｏ－アルキル－アリール－アルキル－Ｏ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）Ｓ－アルキル－Ｓ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）Ｓ－シクロアルキル－Ｓ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）Ｓ－アリール－Ｓ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）Ｓ－ヘテロアリール－Ｓ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）Ｓ－シクロアルキル－アルキル－シクロアルキル－Ｓ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）Ｓ－アリール－アルキル－アリール－Ｓ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）Ｓ－アルキル－シクロアルキル－アルキル－Ｓ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）Ｓ－アルキル－アリール－アルキル－Ｓ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）－アルキル－Ｏ－アルキル－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）－シクロアルキル－Ｏ－シクロアルキル（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）－アリール－Ｏ－アリール－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）－アルキル－ＮＲ－アルキル－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）－シクロアルキル－ＮＲ－シクロアルキル（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）－アリール－ＮＲ－アリール－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）－アルキル－Ｓ－アルキル－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）－アルキレン－Ｓ－アルキレン－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）－シクロアルキル－Ｓ－シクロアルキル（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｏ）－アリール－Ｓ－アリール－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－、－Ｃ（Ｓ）－アルキル－（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アルキレン－（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－シクロアルキル－（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アリール－（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－ヘテロアリール－（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－シクロアルキル－アルキル－シクロアルキル－（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アリール－アルキル－アリール－（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アルキル－シクロアルキル－アルキル－（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アルキル－アリール－アルキル－（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）ＮＲ－アルキル－ＮＲ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）ＮＲ－シクロアルキル－ＮＲ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）ＮＲ－アリール－ＮＲ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）ＮＲ－ヘテロアリール－ＮＲ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）ＮＲ－シクロアルキル－アルキル－シクロアルキル－ＮＲ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）ＮＲ－アリール－アルキル－アリール－ＮＲ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）ＮＲ－アルキル－シクロアルキル－アルキル－ＮＲ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）ＮＲ－アルキル－アリール－アルキル－ＮＲ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｏ－アルキル－Ｏ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｏ－シクロアルキル－Ｏ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｏ－アリール－Ｏ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｏ－ヘテロアリール－Ｏ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｏ－シクロアルキル－アルキル－シクロアルキル－Ｏ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｏ－アリール－アルキル－アリール－Ｏ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｏ－アルキル－シクロアルキル

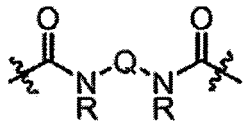
－アルキル－Ｏ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｏ－アルキル－アリール－アルキル－Ｏ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｓ－アルキル－Ｓ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｓ－シクロアルキル－Ｓ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｓ－アリール－Ｓ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｓ－ヘテロアリール－Ｓ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｓ－シクロアルキル－アルキル－シクロアルキル－Ｓ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｓ－アリール－アルキル－アリール－Ｓ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｓ－アルキル－シクロアルキル－アルキル－Ｓ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｓ－アルキル－アリール－アルキル－Ｓ（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アルキル－Ｏ－アルキル－（Ｓ）Ｃ－、
－Ｃ（Ｓ）－シクロアルキル－Ｏ－シクロアルキル（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アリール－Ｏ－アリール－（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アルキル－ＮＲ－アルキル－（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－シクロアルキル－ＮＲ－シクロアルキル（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アリール－ＮＲ－アリール－（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アルキル－Ｓ－アルキル－（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－シクロアルキル－Ｓ－シクロアルキル（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アリール－Ｓ－アリール－（Ｓ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アルキル－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－シクロアルキル－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アリール－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－ヘテロアリール－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－シクロアルキル－アルキル－シクロアルキル－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アリール－アルキル－アリール－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アルキル－シクロアルキル－アルキル－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アルキル－アリール－アルキル－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）ＮＲ－アルキル－ＮＲ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）ＮＲ－シクロアルキル－ＮＲ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）ＮＲ－アリール－ＮＲ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）ＮＲ－ヘテロアリール－ＮＲ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）ＮＲ－シクロアルキル－アルキル－シクロアルキル－ＮＲ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）ＮＲ－アリール－アルキル－アリール－ＮＲ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）ＮＲ－アルキル－シクロアルキル－アルキル－ＮＲ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）ＮＲ－アルキル－アリール－アルキル－ＮＲ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｏ－アルキル－Ｏ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｏ－シクロアルキル－Ｏ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｏ－アリール－Ｏ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｏ－ヘテロアリール－Ｏ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｏ－シクロアルキル－アルキル－シクロアルキル－Ｏ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｏ－アリール－アルキル－アリール－Ｏ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｏ－アルキル－シクロアルキル－アルキル－Ｏ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｏ－アルキル－アリール－アルキル－Ｏ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｓ－アルキル－Ｓ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｓ－シクロアルキル－Ｓ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｓ－アリール－Ｓ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｓ－ヘテロアリール－Ｓ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｓ－シクロアルキル－アルキル－シクロアルキル－Ｓ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｓ－アリール－アルキル－アリール－Ｓ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｓ－アルキル－シクロアルキル－アルキル－Ｓ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）Ｓ－アルキル－アリール－アルキル－Ｓ（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アルキル－Ｏ－アルキル－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－シクロアルキル－Ｏ－シクロアルキル（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アリール－Ｏ－アリール－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アルキル－ＮＲ－アルキル－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－シクロアルキル－ＮＲ－シクロアルキル（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アリール－ＮＲ－アリール－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アルキル－Ｓ－アルキル－（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－シクロアルキル－Ｓ－シクロアルキル（Ｏ）Ｃ－、－Ｃ（Ｓ）－アリール－Ｓ－アリール－（Ｏ）Ｃ－、または上述されるもののあらゆる組み合わせであり、ここでＲはＨ、アルキル、シクロアルキル、アリールまたはアリールアルキルである、

上記態様１に記載のポリマー。

［態様３］

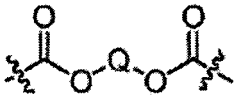
各R_Lが独立して：

【化３】



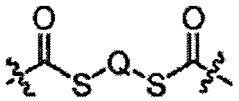
、

【化４】



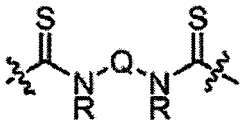
、

【化５】



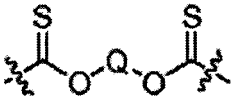
、

【化６】



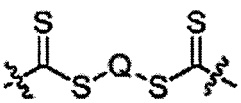
、

【化７】



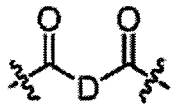
または

【化８】

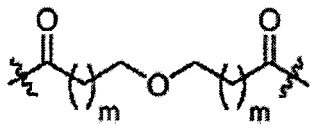


（式中、
Ｑは、アリール、アルキル、シクロアルキル、アルキル－アリール－アルキル、アリー

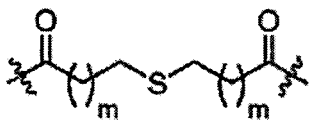
ル－アルキル－アリール、またはシクロアルキル－アルキル－シクロアルキルであり、そのそれぞれが、アリール、アルキル、アルコキシ、アミノ、アミノアルキル、シクロアルキル、オキソ、またはハロゲンのうちの１つまたは複数で置換されていてもよく；および
Ｒは、Ｈ、アルキル、シクロアルキル、アリールまたはアリールアルキルである）
である、上記態様２に記載のポリマー。
［態様４］
各Ｒ$_{L}$が独立して：
【化９】



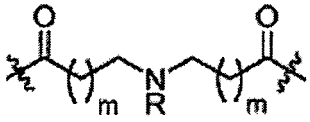
（式中、Ｄは、アリール、アルキル、シクロアルキル、アルケニル、シクロアルケニル、ヘテロシクリル、ヘテロアルキル、またはヘテロアリールであり、そのそれぞれが、アリール、アルキル、アルコキシ、ニトロ、アミノ、アミノアルキル、シクロアルキル、オキソ、イミノ、またはハロゲンのうちの１つまたは複数で置換されていてもよい）
である、上記態様２に記載のポリマー。
［態様５］
各Ｒ$_{L}$が独立して：
【化１０】



【化１１】

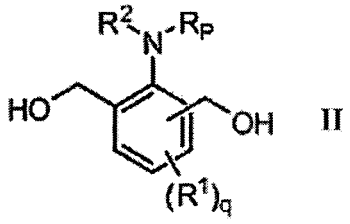


または
【化１２】



（式中、
各ｍは独立して、１～約１００であり；および
Ｒは、Ｈ、アルキル、シクロアルキル、アリールまたはアリールアルキルである）
である、上記態様２に記載のポリマー。

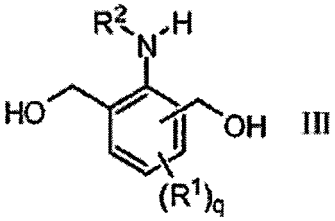
［態様６］
R_Lが、２つ以上のヒドロキシル部分を含む生物学的活性単位、２つ以上のアミノ部分を含む生物学的活性単位、２つ以上のチオール部分を含む生物学的活性単位、または２つ以上のカルボン酸部分を含む生物学的活性単位を含む、上記態様１～５のいずれか１項に記載のポリマー。
［態様７］
前記生物学的活性単位が、殺真菌剤、除草剤、殺虫剤（ｐｅｓｔｉｃｉｄｅ）、ダニ駆除剤、殺藻薬、摂食阻害物質、殺鳥剤、殺菌剤、鳥忌避剤、化学不妊剤、落葉剤、乾燥剤、消毒剤、除草緩和剤、昆虫誘引剤、殺虫剤（ｉｎｓｅｃｔｉｃｉｄｅ）、昆虫忌避剤、哺乳類忌避剤、交尾阻害剤、軟体動物駆除剤、殺線虫剤、植物活性剤、植物生長調節物質、殺鼠剤、情報化学物質、相乗剤、抗ウイルス薬、または薬剤である、上記態様６に記載のポリマー。
［態様８］
各R_Pが、独立して－Ｘ－Ｙ－Ｚであり；
ここで、
Ｘは、－ＣＯ－、－CO_2－、－SO_2－、または－Ｃ（Ｏ）ＮＲ”－であり、ここでＲ”はＨ、アルキル、シクロアルキル、アリールまたはアリールアルキルであり；
Ｙは－CH_2－、－CH_2CH_2－、または結合であり；および
Ｚは、アリール、アルキル、シクロアルキル、アルケニル、シクロアルケニル、複素環、Ｃ（Ｏ）アルキル、アルキル－ジスルフィド、または$NR^{23}R^{24}$であり、そのそれぞれが、アリール、アルキル、アルコキシ、ニトロ、アミノ、アミノアルキル、シクロアルキル、オキソ、イミノ、またはハロゲンのうちの１つまたは複数で置換されていてもよい、
上記態様１～７のいずれか１項に記載のポリマー。
［態様９］
オリゴマー、デンドリマー、架橋されたネットワーク、ストランド、フィルム、繊維、樹脂、接着剤、コーティング、ハイドロゲル、有機ゲルまたは粒子の形態である、上記態様１～８のいずれか１項に記載のポリマー。
［態様１０］
（ａ）式ＩＩ：
【化１３】



II

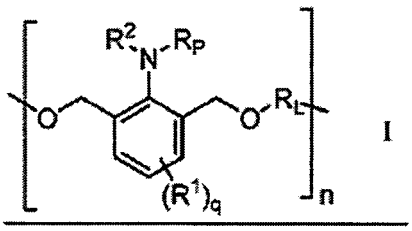
（式中、
R^2は、水素、アルキル、アルケニル、アルキル－アルコキシ、アリール、またはアリールアルキルであり；
ｑは１、２、または３であり；
各R^1は独立して、水素、－CH_2OH、アルキル、アリール、アルコキシ、アリールアルキル、またはハロゲンであるが、但し、R^1のうちの１つだけが－CH_2OHであることを条件とし、およびR^1が－CH_2OHの場合、それはＮに対してパラ位および／または残りのオルト位にある）
の化合物を、１つまたは複数の連結剤と混合すること；および

（ｂ）上記態様１に記載の式Ｉのポリマーを単離すること
を含む、上記態様１に記載のポリマーの作製方法。
［態様１１］
式ＩＩＩ：
【化１４】



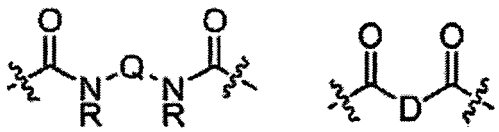
（式中、
Ｒ^{2}は、水素、アルキル、アルケニル、アルキル－アルコキシ、アリール、またはアリールアルキルであり；
ｑは１、２、または３であり；ならびに
各Ｒ^{1}は独立して、水素、－ＣＨ$_{2}$ＯＨ、アルキル、アリール、アルコキシ、アリールアルキル、またはハロゲンであるが、但し、Ｒ^{1}のうちの１つだけが－ＣＨ$_{2}$ＯＨであることを条件とし、およびＲ^{1}が－ＣＨ$_{2}$ＯＨの場合、それはＮに対してパラ位および／または残りのオルト位にある）
の化合物の作製方法であって、前記方法が：
（ａ）上記態様１に記載のポリマーを脱保護すること；および
（ｂ）式ＩＩＩの化合物を単離すること
を含む、方法。
［態様１２］
上記態様１～９のいずれか１つに記載のポリマーおよび１つまたは複数の物質を含む、混合物。
［態様１３］
上記態様１２に記載の混合物から、前記物質を放出させる方法であって、前記混合物を脱重合条件に付すことを含む、方法。
［態様１４］
上記態様１に記載のポリマーを物質と混合することを含む、上記態様１３に記載の混合物の調製方法。
【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
式Ｉ：

【化１５】



I

（式中、
各R_Pは独立に－Ｘ－Ｙ－Ｚであり；
Ｘは、－ＣＯ－、－CO_2－、または－Ｃ（Ｏ）ＮＲ”－であり、ここでＲ”はＨ、アルキル、シクロアルキル、アリールまたはアリールアルキルであり；
Ｙは－CH_2－、－CH_2CH_2－、または結合であり；および
Ｚは、アリール、アルキル、シクロアルキル、アルケニル、シクロアルケニル、複素環、Ｃ（Ｏ）アルキル、アルキル－ジスルフィド、または$NR^{23}R^{24}$であり、そのそれぞれが、アリール、アルキル、アルコキシ、ニトロ、アミノ、アミノアルキル、シクロアルキル、オキソ、イミノ、またはハロゲンのうちの１つまたは複数で置換されていてもよい；
各R^1は独立して、水素、アルキル、アルコキシ、またはハロゲンであり；
ｑは１、２、または３であり；
R_Lは式Ａまたは式Ｂ：
【化１６】



(A)　　(B)

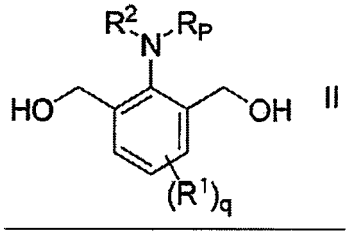
（式中、
Ｑは、アリール、アルキル、シクロアルキル、アルキル－アリール－アルキル、アリール－アルキル－アリール、またはシクロアルキル－アルキル－シクロアルキルであり、そのそれぞれが、アリール、アルキル、アルコキシ、アミノ、アミノアルキル、シクロアルキル、オキソ、またはハロゲンのうちの１つまたは複数で置換されていてもよい；
Ｄは、アリール、アルキル、シクロアルキル、アルケニル、シクロアルケニル、ヘテロシクリル、ヘテロアルキル、またはヘテロアリールであり、そのそれぞれが、アリール、アルキル、アルコキシ、ニトロ、アミノ、アミノアルキル、シクロアルキル、オキソ、イミノ、またはハロゲンのうちの１つまたは複数で置換されていてもよい；および
Ｒは、Ｈまたはアルキルである）
により表される基であり；
R^2は、水素、アルキル、アルケニル、アルキル－アルコキシ、アリール、またはアリールアルキルであり；ならびに
ｎは２～約１００，０００である）
で表される繰り返し単位を含むポリマー。
【請求項２】

オリゴマー、デンドリマー、架橋されたネットワーク、ストランド、フィルム、繊維、樹脂、接着剤、コーティング、ハイドロゲル、有機ゲルまたは粒子の形態である、請求項１に記載のポリマー。

【請求項３】

（ａ）式ＩＩ：

【化１７】



（式中、

R^2は、水素、アルキル、アルケニル、アルキル－アルコキシ、アリール、またはアリールアルキルであり；

ｑは１、２、または３であり；

各R^1は独立して、水素、アルキル、アリール、アルコキシ、アリールアルキル、またはハロゲンである）

の化合物を、１つまたは複数の連結剤と混合すること；および

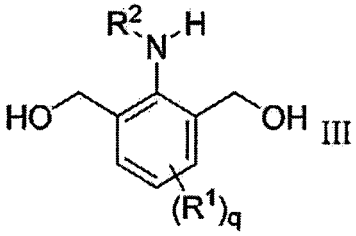
（ｂ）請求項１に記載の式Ｉのポリマーを単離すること

を含む、請求項１に記載のポリマーの作製方法。

【請求項４】

式ＩＩＩ：

【化１８】



（式中、

R^2は、水素、アルキル、アルケニル、アルキル－アルコキシ、アリール、またはアリールアルキルであり；

ｑは１、２、または３であり；ならびに

各R^1は独立して、水素、アルキル、アリール、アルコキシ、アリールアルキル、またはハロゲンである）

の化合物の作製方法であって、前記方法が：

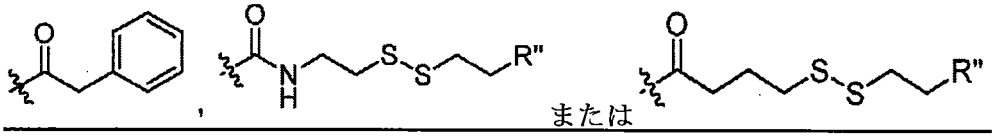
（ａ）請求項１に記載のポリマーを脱保護することにより式ＩＩＩの化合物を形成すること；および

（ｂ）式ＩＩＩの前記化合物を単離すること

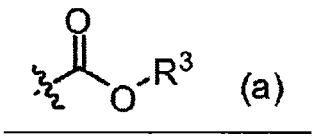
を含む、方法。

【請求項５】

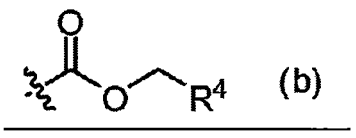
請求項１または２に記載のポリマーおよび１つまたは複数の物質を含む、混合物。
【請求項６】
請求項５に記載の混合物から、前記物質を放出させる方法であって、前記混合物を脱重合条件に付すことを含む、方法。
【請求項７】
請求項１に記載のポリマーを物質と混合することを含む、請求項５に記載の混合物の調製方法。
【請求項８】
各Ｒ$_{p}$が、独立して、
【化１９】



（式中、Ｒ”は、独立して、水素、アルキル、アリール、アルコキシ、アリールアルキル、ハロゲン、またはアジドである）；
【化２０】

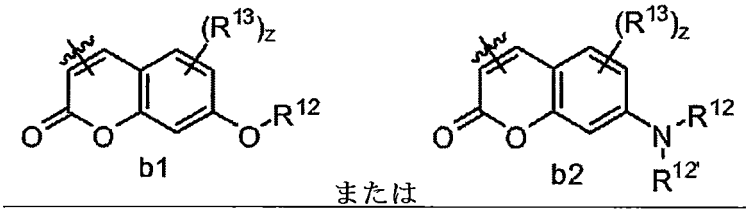


（式中、Ｒ^{3}は、アルキル、シクロアルキル、アリール、ヘテロシクリル、ヘテロアリール、またはアルケニルであり、そのそれぞれが、１または複数の位置で置換されていてもよい）；
【化２１】

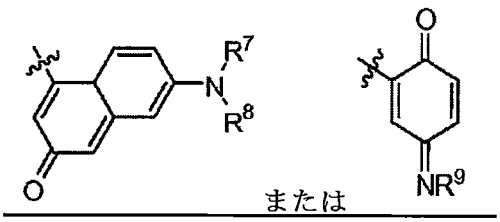


（式中、Ｒ^{3}は、置換されていてもよいアリール、複素環、またはシクロアルケニル環である）
である、請求項１に記載のポリマー。
【請求項９】
Ｒ^{4}は、式：

【化２２】



（式中、Ｒ１２およびＲ１２’はアルキル、アリール、アリールアルキル、またはアルコキシアルキルであり；および
Ｒ１３はニトロ、フルオロ、クロロ、ブロモ、またはヨードであり；および
Ｚは１、２、３または４である）
により表される置換されていてもよいクマリンであるか、
Ｒ４は、式：
【化２３】



（式中、Ｒ７、Ｒ８およびＲ９は独立して、Ｈ、アルキル、ベンジル、置換されたベンジル、アリールスルホニルまたはカルバモイルである）
により表されるものである、請求項８に記載のポリマー。
【請求項１０】
Ｒ４が、環を形成する２つの隣接した位置で、またはアルコキシ、アリール、ニトロ、または－Ｂ（ＯＲ１０）（ＯＲ１１）のうちの１つまたは複数で置換されていてもよいアリールであり、ここでＲ１０およびＲ１１はアルキル、シクロアルキル、アリールであるか、またはＲ１０およびＲ１１はそれらが結合している原子と一緒になって環を形成している、請求項８に記載のポリマー。